

事務事業名	農業振興地域整備促進事業		会計	一般会計	実施区分	継続
H29作成課等名	農業課	H29係等名	農村振興係	事業種別	経常	開始 S46 終了
H28担当課等名	農業課					
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			
	施策	11	支え、育む産業基盤づくり			
目的	対象(誰・何を)	農業振興地域(農用地区域・白地区域)		対象指標	指標名及び単位	
	意図(どうい状態にするか)	振興計画を策定する 優良農用地区域を保全する			農業振興地域の面積(ha)	
	向上させたい上位施策の成果指標	既存農業者の産出額(農業):億円			28年度数値	
					15255	
目標	種別	指標名及び単位		27年度計画	27年度実績	28年度計画
	成果指標	農業振興地域農用地区域の面積(ha)		3237	3237	3235
	定性目標					3238
備考(指標変更など)						
事業概要	<p>農振法(農業振興地域の整備に関する法律(s44))【自然的・経済的・社会的諸条件を考慮して総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域について、その地域の整備に関し必要な施策を計画的に推進するための措置を講ずることにより、農業の健全な発展を図るとともに、国土資源の合理的な利用に寄与する】ことを目的に、優良農地の保全のため、飯田市農業振興地域整備計画を定め、農用地等を管理していく仕組み。平成20年9月29日に特別管理により農業振興地域整備計画の一部を変更した。新規に策定された農業振興地域整備計画に基づき、農業振興を目的とした土地の利活用ができるよう農用地区域の確保、保全を行なっていく。平成21年12月15日農地法の抜本改正に伴い、改正農振法が同時施行され農用地のより適正な管理が求められることになった。</p>					
28年度事業内容	事業内容			名称		活動指標
	<p>1 一般管理(随時見直し) (1) 農振地域整備計画の一般管理(農用地区域への編入・農用地区域から除外・農業用施設用地への用途区分変更など) (2) 庁内各課と調整・関係団体との調整・県との協議・公告・縦覧等法定手続きをとり、農振計画を変更する。 2 特別管理(総合見直し)、他の土地利用計画との調整に係る協議等 (1) 中央新幹線関連整備や三遠南信自動車道関連整備等の整備を見据えた土地利用計画について、関係各課・団体との調整・協議。</p>			<p>1 一般管理(随時見直し) (1) 一般管理の審議対象案件数 (2) 庁内調整会議依頼回数 2 調整に係る協議等 (1) 土地利用調整会議出席</p>		<p>1 (1) 50件 (2) 4回 2 (1) 4回</p>
事業コスト	27年度決算額	28年度予算額	28年度決算額	29年度繰越額	特定財源内訳、補足	
事業費計(千円)①	405	690	404	0	(そ) 農振農用地区域内外証明手数料 5千円 (そ) 諸収入(農振図面販売代金) 8千円	
国庫支出金						
県支出金						
起債						
その他	11	5	13			
一般財源	394	685	391			
人件費計(千円)②	4,649	4,649	4,649	0		
正規職員所要時間	1,300	1,300	1,300			
臨時職員所要時間						
総事業費①+②	5,054	5,339	5,053	0		
事業内容・目標達成状況の振り返り	<p>今後も適切な農振農用地の管理を行うことで、農業の基盤である優良農地を守るだけでなく、農地の有効利用が農業生産額の向上に結びつくように、取り組みを継続していく必要がある。また、今後遊休農地の有効活用を行い、以前にも増して優良農地確保へ努めていく必要がある。</p>					
改革改善の考え方	①問題点	<p>農振農用地の管理を行うことで、優良農地を守るだけでなく、農地を耕作する担い手の確保が必要である。また、リニア中央新幹線計画の進行により、農業振興地域整備計画の見直しと、市の土地利用計画見直しが歩調を併せて取組んでいく必要がある。</p>				
	②改革提案	<p>農業担い手誘致事業や新規就農者支援事業と連携して取組む必要がある。また、リニア中央新幹線計画について、農業振興地域整備計画の見直しと、市の土地利用計画見直しと歩調を併せて進めていく。</p>				